

平成23年5月13日発行

第153号

こうふ町 議会だより

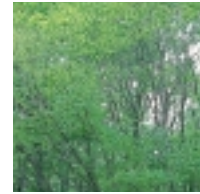
町勢

世帯数/1,136世帯

人口/3,474人

(平成23年5月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ

平成23年度予算	2P~4P
予算の審議	6P~7P
いっぱん質問 町政を問う	12P~14P
私のひと言	16P



春爛漫

(子供の国保育園)

安心・安全な町づくり

一般会計

32億1100万円

(前年比7700万円増額)

平成23年3月定例会は、3月7日から18日までの12日間の日程で開催された。

本年度の一般会計及び特別会計予算・条例の制定・改正等、51議案が上程され、慎重審議の結果、原案通り可決された。一般質問は、3名の議員が質問し、自治・福祉・教育等活発な議論が交わされた。

平成23年度予算は、町税の減少を見込む一方、地方交付税の増額と公債費の減額もあるが、財政の健全化を前提に行財政運営の効率化、適正化を図りながらインフラ整備等を重点に、住民福祉の向上を目指している。

又、議会に於いても対策の一環として、議員報酬を削減し、小さくても元気で明るい輝きのある町づくりに向け予算編成された。

平成23年度	一般会計総額	32億1100万円
	(前年対比102.5パーセント)	
	特別会計	17億9047万円
町民一人当たり		142万7千円
一世帯当り		439万5千円の予算です。

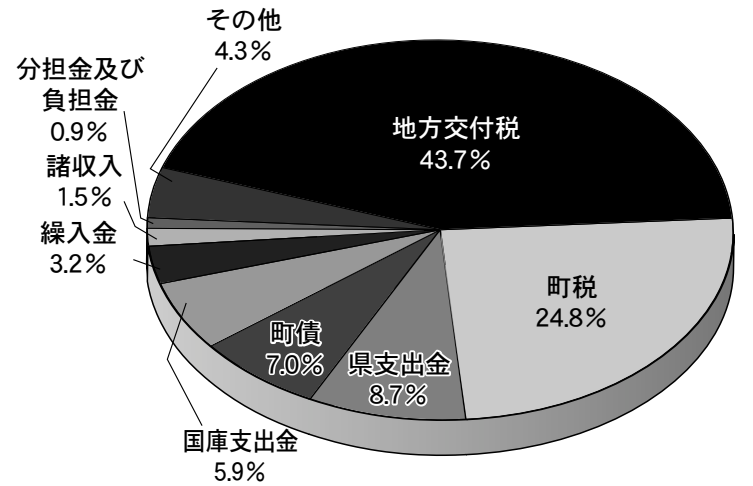
主な歳入は

○ 地方交付金	14億500万円
○ 町税	7億9555万円
○ 県支出金	2億7755万円
○ 国庫支出金	1億9070万円

主な歳出は

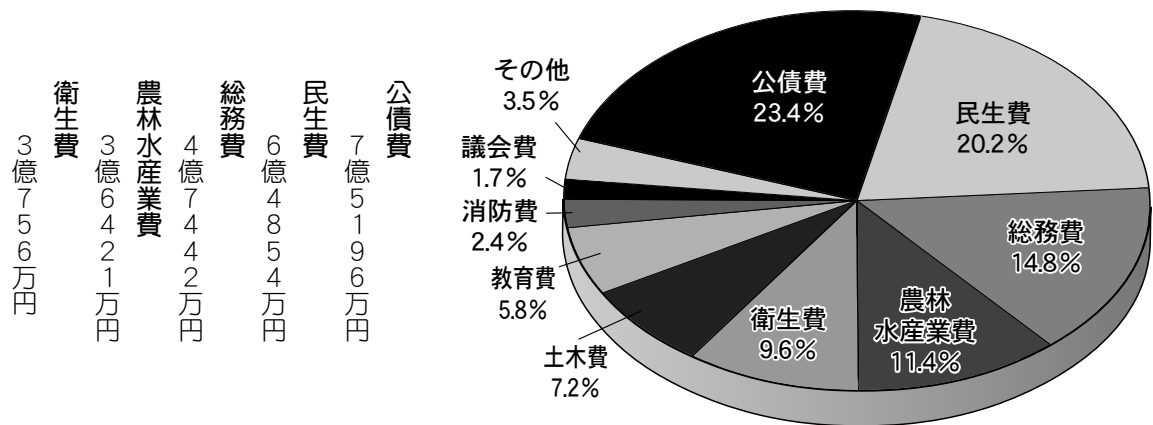
○ 町道洲河崎下安井線改良工事	1億4380万円
○ 中山間地域直接支払制度交付金事業	8977万円
○ 緊急雇用対策費	4313万円
○ スキー場安全対策管理事業	3486万円
○ 情報通信設備管理運営事業費	2720万円
○ 予防接種事業	1752万円

歳入



地方交付税	14億500万円
町税	7億9555万円
主なもの	
(町民税)	8926万円
(固定資産税)	6億8790万円
県支出金	2億7755万円
町債	2億2530万円

歳出



公債費	7億5196万円
民生費	6億4854万円
総務費	4億7442万円
農林水産業費	3億6421万円
衛生費	3億756万円

特別会計 (15会計)

総額 17億9047万円

(前年比 1億1160万円増額)

国民健康保険 (事業勘定)

平成23年1月末現在、被保険者は775人であり、そのうち363人が前期高齢者の方で全体の46・8%を占めている状況で、医療給付を受ける年代層が年々増加する傾向にあるが、医療費の増加を踏まえ、国民健康保険運営協議会で、議論して住民の健康に對し予防対策に更なる力を注ぎ、医療費の適正化に努める。

国民健康保険 (施設勘定)

医科、歯科とも順調に経営が行われている。診療所の特徴でもある糖尿病外来・高血圧・心臓病外来をはじめ「もの忘れ外来」の設置を一昨年から実施し、専門外来に力を注いでいる。昨年10月から鳥取大学医学部地域医療講座教授に江尾診療所でお世話になっている谷口先生が就任され、鳥取大学との協力関係を強くしている。

索道事業

昨年末、奥大山スキー場での雪崩災害で、4名の尊い命が犠牲になりました。お客様と従業員の安全確保のため万全を期し、信頼される索道運営に努めます。

議長日誌



1月

1日 雪崩事故にて全協
4日 雪崩犠牲者葬儀参列

5日 全員協議会

6日 出初式

7日 雪崩犠牲者葬儀参列2名

9日 成人式

13日 広報委員会
19日 臨時議会

27日 追悼式

31日 西部広域行政管理組合委員会

西部議長会

4日 特別委員会

9日 奥大山安全祈願祭

17日 鳥取県議長会総会

21日 後期高齢者広域議

23日 全員協議会

24日 西部広域行政管理組合総会

25日 総合計画審議会

28日 議会運営審議会

日野病院議会

2月

3月

7日~18日 定例議会

8日 中学校卒業式

23日 小学校卒業式

24日 日野町町長宅葬儀

25日 県知事選告示

29日 明德学園卒園式
保育園卒園式

あなたも議会を
傍聴してみませんか

詳しくは議会事務局へ
電話番号75-3307

鳥取県町村議会 議長会表彰

平成23年2月17日
鳥取県町村議会議長会
総会に於いて地方自治功
労表彰で次の方が表彰を
受けられました。
5名の方受賞おめでとう
ございます。永年の御
労苦に感謝いたします。

21
年
表
彰



森田 智 議員



川端 雄勇 議員



田中 幹啓 議員

13
年
表
彰



越峠恵美子 議長



上原 二郎 議員

町の借金は

平成23年度借入金（起債）残高

41億2800万円

最高残高ピーク時

平成16年度70億2800万円に比べ

29億円減少

このような借入金は、道路・農林業基盤整備や総合健康福祉センター（診療所）・防災情報センター・各集落集会所などの建設、学校の大規模改修などの様々な社会資本整備を積極的に進めてきたことによるものです。起債残高も年々減少の見込みです。尚、起債の種類によりその償還金の一部が普通交付税に算入され、国から交付されます。その算入率はおよそ償還金の50〜68%となっています。

平成23年度償還金は7億2500万円です。町の一般財源は2億7100万円で37%です。



公共下水処理場



総合福祉センター

予算の

審議

一般会計

人件費は

人件費の削減は。

Q 町長18%、副町長教育長10%、議員10%、給与表の移行(減額)とそれぞれ昨年とほぼ同じ削減額としてあり実質的には昨年と同じ程度の削減効果となります。

町税の減少は

Q 町税が約1850万円減少しているが、今後の見通しは。

A 減少の多くは、侯野中国電力発電所の減価償却によるものです。今年よりサントリの固定資産が約1700万円入ってきます。又、地方交付税は9500万円の増加となります。

町営バスは

Q 町営バスの運営状況は。

A 平成21年と比較して平成22年は年間の利用者が約4千人減少しています。原因の一つは通学の子供達が減ったことがあります。運営委託料として約5千万円かかりますが県の補助金や運賃収入などがあり実質の町の負担は、700万円程度です。又平成22年11月に実態調査を行い、ダイヤ改正をしました。

関西交流会は

Q 関西交流会が毎年行われているが、最近の状況は。

A 本町出身の関西在住の方に呼びかけ外から見て江府町に対し助言や協力をしてもらうために行っています。昨年は関西の方が14名、江府町より7名の出席でした。

コミュニティ助成事業は

Q 多くの集落で喜ばれている限度額200万円の補助の状況は。

A 県下で応募があったものから審査し補助の対象となります。以前はあまり応募がなく、江府町は多くの補助が決まりました。最近も、他の町村でも応募が多く競争となっています。昨年は、町内から10件の応募があり現在県に対し5件の申請中です。

光ケーブルの整備状況は

Q 光ケーブルが整備されているが、完了予定は。

A 現在99%工事が終わり4月から使用が始まります。使用方法など分かり易く説明が必要となります。4月から防災無線の代わりに使用が始まります。又町内電話を無料で使用する方法に



新しい町営バス



光ケーブル接続

子供の医療費は

Q 子供達の医療費が無料になったが、今後は。

A 少子化対策や子育て支援の観点から6歳までであった医療費の無料化が、小・中学生まで拡大されています。今年度は、1860万円の予算を組んでいます。その内、県の補助が50%残り町の負担となります。昨年の出生者は現在までで10名です。

子宮頸がんのワクチンは

Q マスコミでも最近話題になっていますが、その効果と状況は。

A 子宮頸がんワクチンは中学1年生から高校2年生までを対象とし、3回に亘って投与するものです。希望者には、その費用(4~5万円)の全額が補助されます。その効果は、100%ではありませんが大きな効果があるとされています。

畜産の状況は

Q 宮崎で起こった牛の口蹄疫は大きな問題となったが本町の畜産の現状は。

A 口蹄疫は幸いにも県内には発生せず現在沈静化しています。国県の指導を仰ぎながら常に対策を話し合っています。

橋の安全は

Q 町内の橋の安全点検はどうなっているのか。

A 町内の橋については、15m以上が点検の対象となっており23ヶ所あります。現在、17ヶ所点検が終わり、その内2箇所の修理が必要です。残り全ての橋の点検が終わってから修繕計画を立てる予定です。なお、小さい橋も入れて町内には73箇所の橋があります。

町民運動会は

Q 小学校の統合にあわせて運動会をどうするか、アンケートをとり今まで通り校区ごと

ついでチラシを入れましたが再度分かり易いチラシ等を配布したいと考えています。

又、インターネットの接続が400戸ほどあり、こちらの対応も行いたいと思います。

町のホームページもこれに合わせて新しくする予定です。

実施となったが今年はどうか。

A 昨年は江尾校区と侯野校区は、以前と同様に行った。明倫校区と米沢校区は分館長を中心に軽スポーツに切り替えた。地域の盛り上げを喚起するために工夫が必要と考えています。

スキー場の状況は

Q 事故のため1ヶ月以上営業を休止していたが、現在の決算見込みは。

A リフトの売り上げが約730万円と例年の1割程度となり一般会計から3400万円繰り入れし又繰越金2740万円を加え総額7700万円の見込みです。今まであった繰越金もこれです。無くなり厳しい経営状況です。新年度より奥大山スキー場管理課として独立した課となり今まで以上に安全管理と運営に努めて行きたい。



乳幼児健診



町民体育大会 (江尾会場)

特別会計

住宅資金回収は

Q 現在、住宅新築資金貸付事業は、回収のみになっているが、徴収状況は。

A 償還の終了は、平成31年ですが、徴収も思うように進んでいません。支払いの遅れている方々に積極的に働きかけ、完納に努めたい。

国保の税率は

Q 国民健康保険の税は、上がるか。

A 税率は昨年そのままです。平成24年は、基金取り崩しで対応を考えている。

診療所改修と駐車場拡張は

Q 診療所の施設・器具等の改修・更新はどうか。

A 診療所の施設・器具等については、懸案の駐車場については、

診療所の利用状況

Q 診療所の歯科・一般外来の利用状況は。

A 診療所の外来割合は、歯科が約30%、一般外来は約70%です。歯科については昨年より利用者は増えている。町外からは約30%です。

A 医療器具については、計画的に更新し、対応していく。施設についても、今年度から検討に入る。駐車場については、地権者の方と粘り強く交渉をすすめたい。

介護保険料は

どうなるか

Q 介護保険料の見直しと、介護状況はどうなっているか。

A 介護については、施設入所が増加傾向です。保険料月額4650円も将来値上げを検討している。

現在30名程度の高齢者が、武地医師の指導の



あやめ

と、訪問介護によって支えてもらっている。



雪崩による対策は

Q 雪崩に対する対策はどうか。

A 今年度は専門家の指導の下、常設パトロールを配置し、雪崩防止対策を行った。

雪崩防止壁等ハード施設の対策を含め、予知対策についても、強化していく。

スキー場休業補償は

Q 事故によるスキー場従業員とレストラン「おかもと」の休業補償は。

A 町からの繰入金3408万円を含め、約7700万円です。補正をして対応していく。



雪崩検証奥大山スキー場

一般会計

予算特別委員会 参考意見

江府町の平成23年度一般会計予算は、32億1100万円であり前年対比2・48%の微増となっています。公債費が昨年より約5千万円減の約7億5千万円となり昨年より引き続き減少しているものの依然として高い水準であり厳しい財政状況にあります。引き続き特別職を含む職員の給与削減を基本として、行財政改革を進める必要があります。

このような中で、県の有利な制度を取り入れ、住民に密着した事業が予定されています。今年度の主な事業としては、

- ・子宮頸がん予防接種や各種フクチンの実施。
- ・残された2地区の下水道事業。

野菜の実験栽培や水路等の基盤整備。

・奥大山ブランドの確立。

継続事業として、町道洲河崎下安井線改良工事等となっています。

総務課

又、昨年度に予算化された今年2年目となる「ここに「ご事業」などが予定されています。

政府の動向を十分把握し、各事業の実施に当たるようお願いいたします。

①平成23年度の報酬は、(すべて手当含む)町長18%、副町長・教育長10%、一般職員は、給与表の移行(減額)とそれぞれ昨年とほぼ同じ削減額である。厳しい財政状況を乗り切るためになされている努力に敬意を払う



豪雪による被害(俣野地内)

と共に、議会としても昨年同様10%カットし協力していきたい。

②昨年12月31日、奥大山スキー場で雪崩が発生し4名の方が亡くなるという事故が発生した。現在、安全対策が検討されているが、この際、各部署の安心安全の為総点検を願いたい。

③今年の豪雪により家屋に被害が出ています。現在20件の届出があるようですが、広く町民に知らせ豪雪緊急支援金交付制



度を有効に生かして頂きたい。

企画政策課
①7億6千万円の大規模事業である光ケーブル網の整備が終わり、インターネットによる情報が入ってきます。住民に対する利用方法の指導をお願いしたい。

又、江府町のホームページをリニューアルし、全国に向けて情報を発信して頂きたい。その際、全体を統括し江府町をどう発信するか企画政策課が中心になってまとめて頂きたい。

②町民が元気で楽しく暮らせるように昨年実施された「ここに「ご事業」が2年目となります。



江府道路（佐川橋脚）



老朽化した江府中学校

事業実施に当たっては、昨年の状況を勘案し、町民に喜ばれる事業となるよう努力されたい。

建設課

①高規格道路建設により洲河崎から荒田に橋の建設が予定されています。高規格道路建設の進展に向け努力されたい。

福祉保健課

①過疎高齢化が進み、高齢化率は39%となっています。（日南町45%、日野町41%）

老人クラブは現在21団体あり945名の加入です。いつまでも元気で暮らしていくために、様々な施策を講じて頂きたい。

②現在、施設入所により介護を受けている方は74名となっています。自宅で介護認定を受けたお年寄りの介護を行っている方に対し、町として何らかの補助を出来ないか、検討願いたい。

農林産業課

①企画政策課でも述べましたが、サントリーにより奥大山が全国に向け発信されている。

江府町には、豊かな自然と素晴らしい水、そしてその大地より育った素晴らしい農産物がある。

この農産物を奥大山ブランドの付加価値をつけ、販売する為に、早くブランドの確立に努められたい。

②笠原市民農園は借り手が3名という現状です。運営委員会で協議し、具体的に改善策を実行して頂きたい。

③観光案内板が設置されるようですが、塔塔の「愛の隧道ものがたり」の設置位置を変更し、見え易くなるようお願いしたい。又、現在「南大山大橋」となっている名称を「奥大山大橋」に変更できないか、検討願いたい。

教育委員会

①江府中学校の校舎は、建設後51年を経過し老朽化が進んでいます。昨年のあり方検討委員会からの答申内容をプロジェクティブチームにより、具体的にどうするか検討願いたい。

②平成24年度から小学校5、6年生の英語の授業が始まります。

小学校統合をし、今後の課題は、特色のある学校教育が求められます。食育や昨年の視察等、色々な教育方法があります。将来を担う子供達の為に、より良い教育となるよう努力されたい。

③図書館は、子供達のバスター場所となっています。その利点を生かし、図書館を有効に利用するよう、さらに工夫をお願いしたい。



特別会計

住宅新築資金等 貸付事業

平成8年で住宅新築資金等貸付事業の貸付は終了し、償還の最終年度は平成31年です。現在は返済のみですが、滞納が固定化しています。地道に徴収に努められたい。

国民健康保険 （事業勘定）

1月末現在、被保険者のうち前期高齢者の方が全体の約47%を占めている。医療費の増加を踏まえ、住民の健康に対し予防対策に更なる力を注ぎ、医療費の適正化に努められたい。

国民健康保険 （施設勘定）

医科・歯科とも順調経営が行われている。一昨年から「物忘れ外来」を設置し、専門外来に力を注いでいる。鳥取大学医学部と協力し、質の高い医療体制を諮られたい。

たい。

また、医療機器の更新、施設の利便性の向上、市民の健康管理に努められたい。なお、駐車場拡張についても引き続き努められたい。

介護保険事業 （保険事業勘定）

第4期保険計画の3年目を迎えて、施設入所が増加傾向です。保険料4,650円も将来上げざるを得ない状況である。

在宅介護において、30名程度の高齢者が武地医師の指導のもと訪問介護によって支えられている。本来介護は在宅介護が望ましいが、ヘルパーの充実も図っていく必要がある。

地域包括支援センターの充実を図るとともに、サービスを提供して頂く各事業所と連携を図り、介護保健事業の積極的な取組みに努められたい。

索道事業

昨年末、奥大山スキー場での雪崩災害で、4名の尊い命が犠牲になりました。謹んでお悔やみを申し上げます。

今後、安心してスキー等楽しんでいただける施設として、安全確保に努めなければならない。

簡易水道事業

第2共同（俣野）簡易水道の水源水量が平成20年度から減少しており速やかに水源確保されたい。

電源が止まった場合、水の供給確保についても検討されたい。安全な水の確保と運営経費の削減に努められたい。

農業集落排水事業

今年度で美用地区農業集落排水事業が終了し、杉谷地区の設計に入り、平成24年度には工事着手し、早期完了に努められたい。

特定環境保全 公共下水道事業

今後、江尾地区の公共下水道と川筋地区の農業集落排水施設と下水管の接続が可能になれば、経費節減になるので、今後協議、検討され接続の実現に努められたい。



奥大山スキー場（昨年度）



一般質問 町政ここを問う

一般質問は3人の議員が行い、町長ならびに教育長の方針をたじた



宇田川 潔

江府町自治基本条例の制定は!! 学校教育に愛情弁当を!!

問	制定に向け専門チームの編成を
答	住民との意見交換で

制定に向け専門チームの編成を、今後の対応について伺う。

質問 昨年3月議会の一般質問で、江府町自治基本条例制定を求めて提起いたしました。まちづくり基本条例の制定は、住民が主体性をもって町政に参画し住民の意志を的確に行政に伝えると共に情報を共有することが基本であります。

町長答弁

自治基本条例制定に向けた具体的な対応は現在のところしておりませんが、まちづくりの基本的なルールを決めるということは必要とは思いますが、準備が遅れており大変申し訳ございませんが、まずは、担当職員による情報収集、資料収集を行い、内部検討を進めてまいりたいと思っております。

条例制定は、地域のことは地域で決める地域主権の目玉であり避けて通れない重要な課題で、町の憲法の創設であります。条例制定の内容、評価等については外国人問題など含めて賛否両論がある

現在、各集落からまちづくり町民会議委員を選出いただき、年一回はございますが、町から情報提供を行い、まちづく

問	給食に母の手作り弁当を
答	学校と家庭の食育推進を

りに向けてのご意見を伺うとともに、町民のみならずと勉強会でも行いながら少しずつ取り組んで行きたいと考えています。

質問

親が子どもを虐待する、あるいは子どもが親に暴力を振るうという事件が多発しております。こうした事件の背景には、親子の愛情や家族の絆が脆弱になったことがあるように思えてなりません。親子や家族同士が慈愛の心を取り戻す手段の一つとして、学校給食

に家族手作り弁当を持つてくる「愛情弁当の日」を作ってはどうかでしょうか。家族がそろって食卓を囲む食事習慣は「親が食事を与えて子どもがいただく」と言う基本的人間関係の醸成であり、親子や家族間の愛情を育むことにつながるかと考えます。弁当作りが負担になる場合もあるでしょうが、子どもへの愛情を詰める作業だと理解をいただき、弁当を通して人間性あふれる子どもたちを育成する先駆的な取り組みを、町を挙げて全国に発信してはいかがでしょうか。教育長の所見を伺う。

教育長答弁

ご指摘されたように、子どもの健康と成長、人

格形成に最も影響するのは、家族であり家庭であります。「食育」の第一歩も家庭からスタートいたします。まず親が食に関心をもち、実践することが大切だと思います。家族間のコミュニケーション復活のため「愛情弁当の日」を実施するためには、作ることが楽しいと思える家庭を増やしていくことが重要です。

今後、PTA活動におきましても「食」に関する学習活動に取り組んで頂くよう依頼して参ります。



安心・安全なまちづくりを



田中 幹啓

問

あらゆる災害に危機意識を

答

危機意識を持って総点検

質問 悪夢のような12月31日の雪崩事故、6年前のJRの事故等、型はどうあれ、江府町内で二度の死亡事故が起きている。なくなられた家族の無念さを感じる時、自然災害であれ、人為的災害であれ二度と死亡事故を起こしてはならない。危機意識をもって、安全安心のまちづくりこそ今、我々に説かれている大きなテーマのような気がする。自然災害は人間の力で止める事は厳しいが、被害を最小限に食い止めるのはどうあるべきか、危機意

識の中、考えてみる必要を感じる。町内のトンネル、ダム、橋、建物（公共施設）スキー場、雪なだれ想定場所、川、落石、急傾斜地域、崩壊地域、ウィルス・火事・地震など、県と国と町で対応・協議し年次計画をたてる必要がある。

「まさか」の発想から、”まさか”の発想から、”まさか”の発想になっただけで、町民の防災意識の啓発、訓練を行い安全、安心のまちづくりの一層の対応を願うものである。町長の決意を伺う。

町長答弁

近年の気象状況はゲリラ豪雨、ゲリラ豪雪が発生し、各地で多くの自然災害に見舞われており、災害がいつ起こるか予想出来ない状況である。本町においても昨年末からの豪雪による被害が多数発生しているような状況でもあり、雪害対策本部を立ち上げて対応を行っているところであり、世界的な異常気象の状況を見ますと、想像を超えた災害が発生しているのが現状ですので、今一度危機管理体制を見直し、万全を期して参りたいと思います。危険箇所等の点検については、それぞれの関係機関とも協議しながらできることから行ってまいりたいと思っております。防災訓練につきましては、昨年、西部地震から10年目の節目を迎え各集落で実施していただいた所であります。

新年度からは「江府町防災の日」を設けて、町内一斉防災訓練を毎年実施し防災意識の高揚、防

災体制の充実を図って参りたいと思っております。近年の新型インフルエンザ、鳥インフルエンザなどについても拡大防止につとめている。行政だけでなく広く町

民の皆様との協力が不可欠であります。国や県の情報も正確に町民の皆様へ伝えながら危機管理意識を持って安全、安心のまちづくりをめざしたいと思います。



雪崩の危険のため片側通行（御机地内）

少子化・高齢化対策は



日野尾 優

問	地域再生は
答	諸事業で 対応する

質問 「人口減少社会」の到来がさげばれ、人口・戸数の減少、核家族化、地域社会の連帯感の希薄化、高齢化の急速な進行で集落機能の低下等があるが、地域再生に向けての町長の所見を伺う。

町長答弁 集落資源を管理する機能に対する支援として、農業水利施設改修事業、有害鳥獣駆除、森林環境保全税事業、耕作放棄地対策、環境美化活動支援等を行っております。昨

年度では「地域こまりと支援組織立ち上げ事業」により、モデル事業として町内4地区において、取組みをスタートしました。

現実的には、集落機能を補完する支援事業とコミュニティと共同意識の再構築のための動議付け事業が重要と考え、今年度も引き続き事業を行います。

質問 定住促進対策として、団塊世代を対象に「ふるさと定住プラザ」「くらし町民制度」「定住促進・Uターン相談窓口」等設置して、移住希望者が必要とする情報「住居・就農・くらし等」を一元的に集約し、発信す

る体制が必要と思う。あわせて「空き家」の状況について伺う。

町長答弁 情報の集約、情報提供の一元化は、移住定住の問題だけでなく、広く一般行政の情報管理、情報発信に共通する点です。

現在、国・県・市町村ともできるだけ情報を集約し取組まれておりますが、町では細やかな情報提供を心がけております。一層情報の集約化と共有化を進めたいと考えております。「空き家」状況は、調査をしておりますが、現在のところ一般にオープンにお貸しできるような家はない状況です。今後とも情報を集めたいと思います。

質問 「縁結びの会」から行政と連携して婚活支援に取組みたいと申し出があったが、その後のどのようなになったか。行政の企画・立案のアクションも必要と思う。町長の所見を伺う。

町長答弁 町のアクションとして、イベントを過去実施し、西部の市町村で構成する西部地域振興協議会でも行われておりますが、個人情報等難題もあります。町内有志の集まりについては、昨年11月に開催され「縁結びの会」ということで仲人をされる皆さんが集まり、意見交換されましたが、情報が集まらないこともあります。町行政としては、ノウハウや現在の状況などを勘案し、機会の創出について検討します。



こまりごと支援 (吉原地内)

第2回 臨時会

平成23年2月8日

◆ 索道事業に関する条例の一部改正について

奥大山スキー場災害に伴い休業していましたが、2月から再開するにあたり、リフト料金の減免をするものである。

◆ 一般会計補正予算(第4号)

年末からの豪雪に伴い多数の被害が出ており、鳥取県農林水産業復旧対策と併せ、江府町豪雪緊急支援金交付要綱を定め、補正するものである。

請願に関する 調査特別委員会

平成23年2月4日

江府町財政を考える会から提出された3件の請願が審査されました。

◆ 江府町議会議員と住民の対話集会について

全員賛成

住民との対話は、必要

であり、早急に対処したい。

◆ 江府町議会議員定数削減に関する条例制定について

賛成少数で否決

平成17年7月から10名となり議会委員会構成上最低限である。現在1名減であり、支障がある。

◆ 江府町議会議員報酬月額を10万円とし、年間120万円とする条例制定について

賛成少数で否決

議員の人材確保には逆に報酬を上げ、職業を放棄して議員に出れるようにすべき。収入のある特定の人しか出れなくなる。

議員提出議案

◆ 発議第1号

「江府町議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」

江府町の厳しい財政状況を踏まえて行政コストの抑制に協力するため、期末手当を年間0.15

月減額するものである。

また、月額報酬を4月から1年間10%削減。さらに、4月から3ヶ月間奥大山スキー場災害に伴う遺族対応の財源として町職員と同様に3%上乗せして削減するものです。

◆ 発議第2号

「議会改革特別委員会の設置について」

地方分権の進展に伴い、地方公共団体の自己決定権が拡大する中、町民を代表する議会には、町政における議決機関として、審議の場に町民の多様な意見を反映し、積極的な論議を経て民意を集約する役割がますます期待されている。町民の視点に立ちつつ、地方議会としての自立性を高め、政策立案機能や監視機能のさらなる充実強化を図ることが求められている。これらの諸問題を調査する必要があるため、特別委員会を設置し、開かれた議会を目指し議会基本条例制定に向け、調査するものとする。

江府町議会 議会報告会

開催日時：平成23年5月30日(月) 午後7:00~8:30
場 所：江府町防災情報センター

議会報告会はみなさんと議会の距離をちぢめる場です。江府町議会は「開かれた議会」として、元気で明るいまちづくりのため、行政・議会の情報をみなさんと共有し活かしていきます。みなさんの声をお聞かせ下さい。

テーマ

- 1. H23年度予算と事業について
- 2. 議会の活動状況について

陳情の審査結果

みなさんから提出のあった陳情を審査した結果、次のとおり決定しました。

件 名	提出者	審議結果
2011年度年金引き下げの撤回を求める陳情書	米子市淀江町西原643 全日本年金者組合鳥取県西部支部 支部長 松本 正孝	趣旨採択
保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情書	鳥取市吉方町1丁目583 公的保育制度を守り、豊かな保育をもとめる鳥取県実行委員会 代表世話人 入江 一枝	不採択

【継続審査】

子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書	島根県雲南市三刀屋町殿河内316 日本の子どもの未来を考える会 妹尾 順子	不採択
---------------------------	--	-----

ひとこと



下安井 松原 憲治

定年後のライフワーク

東京オリンピックの年に故郷を離れてから46年ぶりに町民となって、現在農業に汗を流しています。雪の無い所で生活が長かったものですが今年の大雪で田舎に帰った実感が一気に湧いてきました。それまでは農業土木技術者として、中国四国地方の転勤をくり返しながら農業・農村整備の仕事に携わってきました。出来上がった施設で立派に営農がなされている姿を見るにつけ、この仕事を選んで良か

ったと思うんです。それと農家の長男として、小さい時から見よう見まねで農業を手伝い、たまに土・日に帰ってやっていた経験のお陰で地域の農家の人達とすぐに話が通じ、多くの知人や友人が出来た事は私にとつて一生の宝でもあります。

江府町名の由来が水(江)の集まる中心(府)と聞いてはいましたが、農業にとつて一番大切な水を大自然がもたらしてくれる恵まれた環境の元で、都会に住む孫達が喜ぶ、おいしく安全な米、野菜づくりに挑戦しようと思つていますが、果たして亡くなった父が言つていた「稲と対話が出来ないようにならねば一人前ではない」と言うような農業ができるのか自信はありません。経験豊かな近所の人達にいろいろ教えてもらいながら、まずは我が家の自給率を高めて行きたいと思つています。



宮市原 渡部 裕子

地域の皆さんに感謝

うちには小学4年と2年の娘がいます。宮市原には、小さい子供はこの二人だけで集落内を大騒動して走り回っています。

ご迷惑をおかけするばかりですが、逆に「子どもの声かするのはいいもんだよ。」とか「あの子たちの声に元気をもらっちゃうだよ。」とか温かい言葉を頂いて本当に嬉しい限りです。

大雪でバスが運休、学校が休校になった日のことです。防災無線の放送に気付かず、

いつも通りバス停に向かっていた。すると「学校休みだつて放送してたよ。あなたたちの声かしてたから」とわざわざバス停まで知らせに来て下さった方もいます。門先におじゃまするのに快く相手をして下さったり、皆さんに可愛がって頂いて本当にありがとうございます。

また、小学校では町探険、郷土学習と江府町内を回らせてもらっています。その行った先でも「あら、お母さんによく似て」と声をかけてもらったり、美用では温かいみそ汁まで用意して下さいました。バスの運転手さん、防災センターの職員の方、様々な場所ですべて皆さん温かく見守って下さっています。声をかけてもらうことで子どもたちは安心して、お陰様でのびのびと育つてくれています。

こうして地域の皆さんに支えられ、育てて頂いているんだなと改めて実感し、心から感謝しております。これからどうぞよろしくお願ひします。

あとがき

- ▼ 3月11日の東日本大震災は未曾有の災害であり、史上最悪と言われ、想像を絶するものです。
 - ▼ 町は県内他町の要請により奥大山の水720ケース(2.5リットル×6本入り)と町単独で200ケースを義援水として届けました。
 - ▼ 町職員2名を宮城県石巻市に4月24日から5月9日の間派遣します。
 - ▼ ガンバレ日本！
- 川上 富夫

- 議会広報調査特別委員会
- 委員長 日野尾 優
 - 副委員長 川上 富夫
 - 委員 森田 智
 - 委員 田中 幹啓
 - 委員 越峠恵美子